



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船越 義和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部本部長 (氏名) 佐塚 真弘

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,962	1.4	605	64.9	584	17.8	385	15.2
27年3月期第2四半期	9,826	△3.4	366	△34.6	496	△20.2	335	△11.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △61百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 518百万円 (△1.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	14.37	—
27年3月期第2四半期	12.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	22,187	15,802	70.1
27年3月期	22,963	16,106	68.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 15,542百万円 27年3月期 15,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	5.1	950	47.1	1,000	15.7	600	5.6	22.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	29,748,200 株	27年3月期	29,748,200 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,895,348 株	27年3月期	2,893,848 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	26,853,438 株	27年3月期2Q	26,858,308 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとするアジア新興国経済の減速など国際情勢に影響を受けたものの、政府の経済政策や金融政策の効果により、企業収益や雇用環境に改善がみられ、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

精糖業界においては、依然として加糖調製品、異性化糖及び他の甘味料の浸食などにより、厳しい販売環境が続いております。

このような環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図るとともに顧客満足度を高めるため、主力製品である砂糖では製品の安定供給に取り組んでまいりました。また、機能性食品では高付加価値提案型の販売活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,962百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益605百万円（同64.9%増）、経常利益584百万円（同17.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益385百万円（同15.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖

精糖事業においては、夏場の猛暑のあと降雨が続く天候不順のなか、調味料向けの出荷は増加したものの菓子類や清涼飲料向けが低調な荷動きとなり、上白糖や液糖を中心に販売数量は前年同期を下回りましたが、効率的な原料調達や生産コストの抑制を図りました。

以上の結果、精糖事業の業績は売上高6,199百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益705百万円（同20.5%増）の減収増益となりました。

② 機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、販売面で新規採用は増加しましたが大手ユーザー向けの販売数量が伸び悩んだことにより減収となりました。利益面ではタイ連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.において、品質の安定化に時間を要したことにより工場稼働率が上がらず、営業損失となりました。連結子会社ユニテックフーズ株式会社は主力製品のペクチン及びゼラチンでの大手ユーザーの拡販又は新規採用などにより大きく増収増益となりました。

以上の結果、機能性素材事業の業績は売上高3,464百万円（前年同期比8.7%増）の増収となり、営業損失も14百万円（前年同期営業損失144百万円）と改善いたしました。

③ 不動産

不動産の業績につきましては、売上高297百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益260百万円（同1.9%減）の減収減益となりました。維持管理費が増加しましたが引き続き安定収益確保に貢献いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3.4%減少し、22,187百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ0.3%減少し、8,773百万円となりました。これは主に商品及び製品、原材料及び貯蔵品の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ5.3%減少し、13,413百万円となりました。これは主に機械装置及び運搬具、投資有価証券の減少等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ4.3%減少し、3,794百万円となりました。これは主に買掛金の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ10.5%減少し、2,590百万円となりました。これは主に長期借入金、固定負債「その他」に含まれる繰延税金負債の減少等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.9%減少し、15,802百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ461百万円増加し、2,652百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、834百万円(前年同期44百万円支出)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上、たな卸資産の減少等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、130百万円(前年同期比0.5%増)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出、長期貸付けによる支出等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、239百万円(前年同期比114.7%増)となりました。これは主として、配当金の支払額、長期借入金の返済による支出等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年4月30日付け公表の通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,815,136	2,329,848
受取手形及び売掛金	2,396,935	2,419,392
有価証券	378,313	323,070
商品及び製品	1,508,955	1,263,771
仕掛品	431,339	398,392
原材料及び貯蔵品	1,072,632	797,663
その他	1,204,313	1,245,481
貸倒引当金	△3,393	△3,888
流動資産合計	8,804,233	8,773,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,036,414	961,116
機械装置及び運搬具(純額)	1,695,551	1,427,705
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	97,462	142,255
有形固定資産合計	4,878,263	4,579,911
無形固定資産		
のれん	577,809	523,814
その他	87,228	79,044
無形固定資産合計	665,037	602,859
投資その他の資産		
投資有価証券	6,383,613	5,933,479
関係会社長期貸付金	2,009,124	2,068,445
退職給付に係る資産	-	6,231
その他	273,976	267,171
貸倒引当金	△50,589	△44,182
投資その他の資産合計	8,616,124	8,231,145
固定資産合計	14,159,425	13,413,917
資産合計	22,963,658	22,187,649

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,324,447	1,020,560
短期借入金	1,360,947	1,430,312
未払法人税等	209,316	297,722
賞与引当金	99,733	103,735
その他	969,359	942,348
流動負債合計	3,963,805	3,794,679
固定負債		
長期借入金	1,466,481	1,308,993
役員退職慰労引当金	183,039	160,209
退職給付に係る負債	6,018	-
資産除去債務	64,051	64,369
その他	1,174,119	1,056,534
固定負債合計	2,893,710	2,590,105
負債合計	6,857,515	6,384,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,530,171	2,530,171
利益剰余金	10,391,064	10,535,301
自己株式	△716,247	△716,813
株主資本合計	13,729,448	13,873,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,827,960	1,549,128
為替換算調整勘定	152,501	108,001
退職給付に係る調整累計額	11,803	12,245
その他の包括利益累計額合計	1,992,264	1,669,375
非支配株主持分	384,430	260,369
純資産合計	16,106,143	15,802,863
負債純資産合計	22,963,658	22,187,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,826,474	9,962,862
売上原価	7,880,672	7,722,483
売上総利益	1,945,801	2,240,379
販売費及び一般管理費	1,578,864	1,635,237
営業利益	366,937	605,142
営業外収益		
受取利息	21,821	20,939
受取配当金	31,495	32,856
為替差益	30,027	-
持分法による投資利益	40,003	-
その他	25,753	21,151
営業外収益合計	149,102	74,947
営業外費用		
支払利息	18,199	18,139
為替差損	-	63,952
持分法による投資損失	-	6,919
その他	1,260	6,248
営業外費用合計	19,460	95,258
経常利益	496,578	584,831
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,770
特別利益合計	-	1,770
特別損失		
固定資産除却損	125	159
投資有価証券評価損	355	-
特別損失合計	480	159
税金等調整前四半期純利益	496,098	586,441
法人税、住民税及び事業税	213,831	298,295
法人税等調整額	17,673	△10,127
法人税等合計	231,504	288,167
四半期純利益	264,593	298,273
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△70,522	△87,651
親会社株主に帰属する四半期純利益	335,115	385,925

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	264,593	298,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	200,459	△278,831
為替換算調整勘定	50,858	△80,908
退職給付に係る調整額	2,040	442
持分法適用会社に対する持分相当額	805	-
その他の包括利益合計	254,164	△359,298
四半期包括利益	518,757	△61,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	566,393	63,036
非支配株主に係る四半期包括利益	△47,635	△124,060

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	496,098	586,441
減価償却費	156,374	168,000
のれん償却額	53,994	53,994
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,042	4,002
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,100	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,899	△5,912
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12,582	△22,830
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△45,380	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△11,595
受取利息及び受取配当金	△53,317	△53,796
支払利息	18,199	18,139
為替差損益(△は益)	△26,975	63,127
持分法による投資損益(△は益)	△40,003	6,919
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△1,770
投資有価証券評価損益(△は益)	355	-
固定資産除却損	125	159
売上債権の増減額(△は増加)	82,925	△22,768
たな卸資産の増減額(△は増加)	△43,284	526,878
その他の流動資産の増減額(△は増加)	6,028	△2,520
仕入債務の増減額(△は減少)	△511,095	△303,306
その他の流動負債の増減額(△は減少)	35,848	△19,648
その他	11,540	5,608
小計	102,809	989,124
利息及び配当金の受取額	78,924	78,345
利息の支払額	△17,387	△16,934
法人税等の支払額	△209,083	△216,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	△44,737	834,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	2,000
有形固定資産の取得による支出	△88,233	△57,097
無形固定資産の取得による支出	△822	△1,700
投資有価証券の取得による支出	△650	△654
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	10,187
長期貸付金の回収による収入	490,027	506,722
長期貸付けによる支出	△530,000	△573,232
その他	-	△16,611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,679	△130,386
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	29,200	182,310
長期借入れによる収入	172,624	-
長期借入金の返済による支出	△71,348	△179,097
自己株式の取得による支出	△63	△565
配当金の支払額	△241,725	△241,689
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,312	△239,042
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,315	△3,435
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△281,413	461,468
現金及び現金同等物の期首残高	2,495,415	2,191,450
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,214,001	2,652,919

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性素材	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,339,046	3,188,281	299,146	9,826,474	—	9,826,474
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	827	827	△827	—
計	6,339,046	3,188,281	299,973	9,827,301	△827	9,826,474
セグメント利益又は損失(△)	585,495	△144,027	265,821	707,289	△340,352	366,937

(注) 1 セグメント利益の調整額340,352千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性素材	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,199,954	3,464,991	297,917	9,962,862	—	9,962,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	827	827	△827	—
計	6,199,954	3,464,991	298,744	9,963,689	△827	9,962,862
セグメント利益又は損失(△)	705,468	△14,245	260,856	952,079	△346,936	605,142

(注) 1 セグメント利益の調整額346,936千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。